

平成24年度 第40回 岐阜県高等学校選抜バスケットボール大会 (兼 第43回 全国高等学校選抜優勝大会 県予選会)

☆男子展望

今大会は、県総体において優勝した美濃加茂が優勝候補の筆頭である。全国高校総体では惜しくも1回戦で涙をのんだが、実績・経験とも申し分がない。主将の平佐田、外角のシュートを得意とする高橋、ツインタワーの赤土・范を軸にスピーディーで、破壊力のあるバスケットを展開する。

対抗には、県総体2位の岐阜総合があげられる。県総体では惜しくも美濃加茂に敗れたが、3年生の大野、松岡を中心に伝統である粘り強いディフェンスから速攻へ持ち込むバスケットに、どれだけ磨きがかかったか期待したい。また、県総体3位の岐阜農林、4位の富田も個々の能力が高く、粘り強いチームであり、上位を脅かす存在である。さらに、県総体5位の中津川工の活躍にも期待したい。

Aブロック・第1シードの美濃加茂が最有力である。対抗には、県総体ベスト8の高山西があげられる。

Bブロック・第4シードの富田が粘り強いディフェンスと抜群のチームワークで上位進出をねらっている。対抗には、県総体5位の中津川工があげられる。順当にいけば、この2校がベスト4を懸けて戦うであろう。

Cブロック・第3シードの岐阜農林が有力である。機動力を生かしたバスケットに、どれだけ磨きがかかったか期待したい。対抗には、県総体ベスト8の長良があげられる。

Dブロック・第2シードの岐阜総合が粘り強いバスケットで、虎視眈々と優勝を狙っている。対抗には、県総体ベスト8の岐阜北があげられる。土岐商の活躍にも期待したい。

☆女子展望

岐阜女子が選手層の厚さ・個々の能力の高さで群を抜いている。東海高校総体では準優勝、全国高校総体ではベスト16という成績を収め、実績・経験とも申し分がない。主将の小林、外国人留学生センターのアイダを軸に、レベルの高いバスケットを展開し、優勝候補の筆頭である。

対抗には、県総体2位の岐阜総合があげられる。最後まで粘り強く戦い、個々の能力も高く、外角のシュートを得意とするチームである。また、東海総体へ出場し、個々能力が高い土岐商、総合力の高い県岐阜商があげられるが、岐阜女子相手にどこまで食らいついていけるか期待したい。さらに、県総体5位の高山西、近年着実に力をつけている岐阜農林の活躍にも期待したい。

Aブロック・第1シードの岐阜女子が圧倒的な強さでベスト4に進出するであろう。対抗には、県総体ベスト8の長良があげられる。

Bブロック・第4シードの県岐阜商が有力である。対抗には、個々の能力が高く、県総体5位の高山西があげられる。順調にいけばこの2校がベスト4を懸けて戦うであろう。

Cブロック・第3シードの土岐商が安定した戦いで上位に進出するであろう。対抗には、県総体ベスト8の大垣商があげられる。

Dブロック・第2シードの岐阜総合が最有力である。対抗には、県総体ベスト8の岐阜農林があげられる。順当にいけばこの2校がベスト4を懸けて戦うであろう。